

平成28年8月4日

技術委員会 事務局

## 第6回技術委員会 議事要旨

1. 開催日時：2016年8月4日（木） 16:30～18:00

2. 開催場所：東京大学工学部

3. 出席者：

技術委員：岡本委員長、渡邊委員、瀧口委員、浅間委員

I R I D：劔田理事長、新井副理事長、吉澤専務、藤原理事、桑原開発計画部長、高守研究管理部長、他

4. 議事概要：

(1) 劔田理事長挨拶の後、資料確認が行われた。

(2) 前回議事録が確認された。

(3) 平成28年度の活動状況として資料に基づき、前回のアドバイスのフォローアップ状況、共通基盤技術レビューWGの設置について説明、討議がされるとともに、当日開催されたIRIDシンポジウム2016に対するアドバイスをいただいた。

- 5つの共通課題に対してIDR (IRID Design Review)が効果的に働きつつあることは理解できた。この仕組みを継続して行き、今は「黄色」の判定が一年後に「緑」になることを期待する。
- プロジェクトのニーズをしっかりとみて、ゴールをきちんと設定すること。デザインレビューが縦割になっていると失敗経験が他のプロジェクトへ活かさないので、プロジェクト間で共有すること。
- 安全に関しては、安全だけではなく不安全のときのシナリオをしっかりと考えること。リスクの積分値で議論しなければ意味が無く、かなり大胆なことまで議論すること。しかし、安全に捉われ過ぎると技術開発の幅

を狭めてしまう恐れがあるので、安全の議論は技術開発と並行して進め、技術開発自体は少し幅広に行うこと。

- 共通基盤技術レビューWG の設置に関しては、今までの機器をできるだけ活用するプラットフォーム化の発想を取り入れること。WG の運用は柔軟にして本音を議論すること。
- IRID プロパーを育てるしっかりした人材育成を行い、内部の経験値を上げること。ただし、NDF の動きも良く見て屋上屋を重ねないように。
- 今回のIRID シンポジウムのやり方は良いので継続すること。企業に対してはどのように事業に関与できるのかということ伝えること、優秀ポスターに理事長賞を出すべき。

他、データベース化、ドローン、無線通信、内視鏡、脚補強、技術コンペティション等に関して具体的なアドバイスをいただいた。

以上